

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 丸山 剛	
環境 -17	実施事業	衛生・害虫駆除事業	自治事務	主管課 環境保全課
			法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	環境汚染の防止

1 事業の目的

対象	市民等
意図	感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努める。
効果	不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒、ねずみ、ハチ等昆虫の駆除相談・駆除業務を行う。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,243人 世 帯 数 80,676世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	人 口 176,466人 世 帯 数 81,150世帯 事業の対象者数	176,466人 81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	10,076	当初予算(千円)	14,506	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	10,076	一般財源	14,506	
事業経費運営	人員配置数	2.5	人員配置数	1.5	
	人件費(千円)	19,077	人件費(千円)	11,593	
	総事業費(千円)	29,153	総事業費(千円)	26,099	
	市民1人当りの経費(円)	164	市民1人当りの経費(円)	148	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	□ a: 事業内容を見直す ■ b: 事業内容は現状通りとする □ c: 事業を休止又は廃止する □ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒ 見直しの種類 □ 拡大 □ 縮小 □ その他
		⇒ 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	□ A: 予算規模を拡大する □ B: 予算規模は現状維持とする ■ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		委託業務化したスズメバチの巣の駆除業務については、市民の受益者負担を29年度に変更(2, 160円→3, 240円)し、今後も段階的に負担額を増やすことにより、予算規模の縮小を図っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	27年度からスズメバチの巣の駆除業務を新たに委託業務として実施するとともに、市民からの受益者負担(1件; 2, 160円)を導入した(28年度も同額)。ユスリカやねずみ等不快害虫等の駆除については、市民からの要望に対応して駆除事業を実施した。河川や道路側溝等の市が管理する施設での不快害虫等の発生については、施設管理者が駆除を実施するように調整を進めていく。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	スズメバチの駆除事業を委託化し、経費の一部負担(2,160円)を導入したが、市民からの要望に適切に対応できる体制を確立したうえで、委託業務のさらなる競争性を導入するため、入札の実施を行っていく。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	技能労務職職員による直営の事業実施を業者委託に変更した。あわせて市民から経費の一部負担を実施した。平成29年度から経費の一部負担を増額するため、要領の改正や市民への周知準備を行った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成29年度の経費の一部負担額を3,240円に増額し、平成30年度以降も経費の一部負担額の増額を準備していく。業者委託化によって、土曜日等の週末(閉庁日)にもスズメバチの巣の駆除実施が可能になったことは市民からも評価を得ている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	
------------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スズメバチの駆除について相談を受け、駆除した割合					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
スズメバチ駆除に対して早期解決を目指すため	目標値	800	800	600						
	実績値	1,011	403	359						
	達成率	126.4%	50.4%	59.8%						

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標値は駆除の見込み件数であり、気象条件に起因してスズメバチの活動が活発な年には駆除件数(実績値)が増加するが、活動が低調な年には件数が減少する。
------------------------------	--